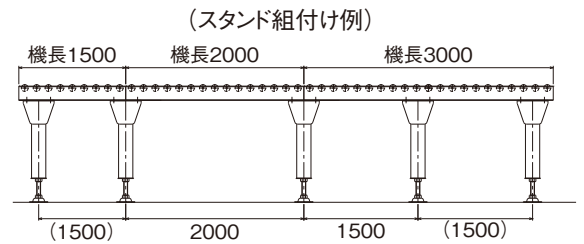


## 5. スタンド取付間隔の設定

- ・コンベヤにスタンドを取付ける場合、フレーム強度も考えなければなりません。  
 ストレートコンベヤの場合は、1,500~2,000mm間隔に1脚、  
 カーブコンベヤの場合は、45°以上には中間に1脚が目安です。
- ・搬送物の重量を1m当りの重量に換算して、  
 下記フレーム強度表より、型式・スタンド取付間隔を選定してください。



### ■フレーム強度表

(単位:kg/m)

材 質	フレーム仕様	脚取付けピッチ (P)			
		1,000mm	1,500mm	2,000mm	3,000mm
スチール	L20×15×t2.3	10	4	—	—
	[30×15×t2.3	50	20	—	—
	[40×30×t2.3	330	90	30	—
	[60×30×t2.3	500	200	100	30
	L60×30×t3.2	650	260	130	40
	[90×30×t2.3	1,100	500	250	70
	[90×30×t3.2	1,500	700	320	90
	L90×30×t3.2	880	400	200	55
	[90×30×t4.5	2,000	900	420	120
[100×50×t5.0	4,000	1,200	600	150	
[120×30×t3.2	1,800	800	400	110	
ステンレス	L20×15×t2.0	8	3	—	—
	[60×30×t2.0	450	180	90	27
	[90×30×t2.0	990	450	230	60
	[90×30×t3.0	1,300	580	300	80
アルミ	[30×15×t2.0	30	10	—	—
	[60×30×t3.0	250	150	80	20
	[63×25×t2.5/3.5	260	155	83	21
	[90×30×t3.0	500	200	100	30

EA985MB,MC,MD  
シリーズ

EA985LA,LB,LC  
シリーズ

- (注) 1. 上記の数値は、フレーム1セット(2本)の1m当たりの等分負荷荷重における、強度を表しております。  
 2. フレームたわみ1/500を基準として算出。  
 3. 参考例として、フレーム[60×30×2.3t(スチール製)で、脚取付けピッチ2,000mmの場合、  
 100kg/mの数値は、機長2mのコンベヤ上に100kg×2m=200kgの等分負荷に耐えられます。  
 4. ローラ軸の重量は、含んでおりません。

## 6. 自走勾配の選定

- ・ローラコンベヤを傾斜させて設置すれば搬送物は自重によって動きます。  
 この時の傾斜を自走勾配といいます。  
 自走勾配の値は、搬送物の重量、底面状態、外気の温度、湿度で変化しますので正確な値は困難ですが、  
 大体の目安として下記の表を参照してください。
- ・特殊な搬送物の場合、テスト確認が必要です。ご相談ください。
- ・ベアリングの選定においても、自走勾配の値は変わります。ローラにおいて同じ外径、同じ軸径であれば  
 勾配の値は、削り出しベアリング<プレスベアリング<規格ベアリングの順になります。

### ■自走勾配目安表

